ハンドマイク街頭演説原稿例　憲法記念日によせて

二〇二五年五月一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、五月三日は憲法記念日、日本国憲法が施行されて七十八年を迎えました。過去の侵略戦争を反省し、「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意」したのが今の憲法です。国と国とのもめごとを戦争に発展させず、平和的に解決するという日本国憲法の精神は、いまでは世界の大きな流れになっているのではないでしょうか。日本共産党は日本国憲法の精神を守り生かし、平和な世界を実現するために、引き続き全力を尽くす決意です。

　ところがみなさん、今の石破政権はどうでしょうか。今年度の防衛費、軍事予算は総額八・七兆円で、前年度から九％を超える伸び率を示しました。その一方で私たちの生活を支える社会保障費はプラス一・五％、教育などの予算はプラス一・四％です。この間の物価上昇率がプラス二・七％ですから、これでは実質的にマイナス予算です。石破政権が国民の暮らしを支える立場に立っていないことが、ここからも分かるのではないでしょうか。

　しかも、防衛費の中身を見ると、他国の領土などを直接攻撃するような武器といった、「日本を守る」というにはぶっそうすぎるものばかり増やしています。以前は自民党の総理大臣であっても、他国を攻撃するような脅威を与える兵器を持つことは、憲法の趣旨と合わないとはっきり言ってきました。安倍晋三さん以来の自民党・公明党の政権は、彼らの先輩たちさえ否定した、外国を積極的に攻撃する兵器をそろえることばかりでした。しかも、アメリカ軍といっしょになって他国を先制攻撃する危険もあります。日本共産党は、このような暴挙に断固反対し、大軍拡をただちにやめるよう求めるものです。

　みなさん、「外国から攻撃されたらどうするのか」という疑問をお持ちの方もいらっしゃると思います。ですが、軍備をどんなに強めても戦争を防ぐ力にならないことは、世界の歴史が示しています。一方が軍備を強めれば、もう一方はもっと強い軍備を持とうとする、それを見て他方はさらに軍備を強化する。この繰り返しになり、かえって戦争を呼び込むことになるのではないでしょうか。逆に、徹底的に話し合いで解決する外交努力をつらぬくことこそ、もめごとを戦争にせず、平和的に解決する道です。日本共産党は東南アジアの国々の経験に学び、東アジアを戦争の心配のない地域に変える外交努力に力をつくす日本をめざし、全力を上げる決意です。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）